

ふれ愛ネットワーク NO.553



広報

ひだか



ひだか茂平マラソンスタート

もくじ

新年のご挨拶	2-3
ひだか茂平マラソン2014開催	6
村の駅ひだかグラントオープン	7
すくすく広場	13
学校だより～日高中学校～	16
スミス日記	17
トンボ・Village Now・治水事業	22



寿 春



戸梶 眞幸
(日高村長)

新年明けましておめで
とございます。

村民の皆様におかれま
しては輝かしい新春を健
やかに迎えられましたこ
とを心からお慶び申し上
げます。旧年中は村政執
行にあたり、深いご理解
と温かいご協力を賜り心
より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみま
すと、まず思い起こすの
は8月の台風12号、11号
災害です。8月2日から
3日にかけて台風12号に
よる豪雨災害、8月9日
から10日にかけての台風
11号災害と、2週続けて
の豪雨災害により、村内
全域で大きな災害が発生
しました。この災害で被
害にあわれました皆様
に、あらためまして心よ
りお見舞い申し上げます。

す。被災されました皆様
方の1日も早い生活の再
建をご祈念申し上げます。
今後、治水等防災力
強化への取り組みが日高
村の施策の最重要課題と
位置付け今以上の取り組
みの強化を図らなければ
ならないと考えていま
す。皆様方のご協力、ご
支援をお願いします。

昨年、日高村は村制施
行60年を迎えました。財
政危機や台風災害、合併
問題、産業廃棄物処理施
設設置問題等様々な問題
や課題を、先人たちは知
恵と工夫と努力によって
克服し今日の日高村があ
ります。

現在、村は少子高齢
人口減少という大きな課
題に直面しています。こ
の波は日本全国での悩み
であり1村だけで解決で
きない側面はあります
が、国においてもまち・
ひと・しごと創生法が制
定され、潤いのある豊か
な生活を安心して営める

地域社会の形成、地域社
会を担う個性豊かで多様
な人材の確保、地域社会
における魅力ある多様な
就業の機会の創出に向け
て施策を展開していくと
されており、具体的な内
容が示されれば、村活性
化の好機ととらえ取り組
んでいきたいと考えてい
ます。

高知市から16km、意外
と近い村、この地の利を
生かし、村の駅ひだかや
屋形船、オムライス街道、
調整池のフットパスなど
による交流人口を拡大す
ることにより、日高村を
多くの人に知ってもら
い、定住の候補地として
検討してもらいたいと思
っています。そのために
自然環境の良さだけでは
なく、JRやデマンドバ
スなどの公共交通の充
実、子育て環境の充実、
高齢者や障害者などの福
祉施策の充実を図りなが
ら「住んでよかった村、
住んでみたい村」をア
ピールしていきたいと思
っています。

日高の未来は人づくり
から、ぜひ多くの村民の
方々に村づくりに参画し
ていただきたいと考えて
います。

村の財政状況は、財政
健全化法に示されていま
す数値としては好転して
きていますが、国の財政
状況等を考えたとき、生
命線であります交付税の
動向も厳しいものがあり
ます。更なる行財政の改
革を進めながら、村が抱
えます課題の解決へ向け
ての取り組みも進めなけ
ればなりません。

平成27年度予算は、南
海地震に備える、安心し
て暮らせる地域づくり、
住民力の集結や共助・協
働による村づくり、健全
財政の定着化、地域の再
生・活性化を図る5つの
予算編成方針を立て臨ん
でいます。

本年も村民の皆様には、
温かいご支援・ご協
力をお願い申し上げます
とともに、村民の皆様の
ご健勝ご多幸を心よりご
祈念申し上げます。年始
のご挨拶とさせていただきます。

また、社会は様々な価
値観を持つものが、それ
ぞれの能力や資質によつ
て役割を分担し、共同す

私たちはこうした動き
に適切に対応していくと
ともに、併せて、過去か
ら受け継がれてきた教育
の良さも継承していくこ
とが重要だと考えており
ます。



片岡 信次
(日高村教育長)

新年明けましておめで
とございます。皆様には
健康やかに新しい年をお
迎えのこととお慶び申し
上げます。

昨年11月23日には「ひ
だか茂平マラソン
2014」に、県内外か
ら1,200名を超える
ランナーの申し込みを
得、盛大に開催すること
ができました。これは偏
に大会の準備から運営に
至るまでご協力をいた
だきました、村民の皆様
などのボランティアの方
々や沿道でのあたたかい
声援によるものでありま
す。皆様方のご理解とご
協力に感謝とお礼を申し
上げます。

さて、昨年も国の教育
再生実行会議から数次に
わたる提言が出され、教
育委員会制度など様々な
教育改革が進められま
した。

私たちはこうした動き
に適切に対応していくと
ともに、併せて、過去か
ら受け継がれてきた教育
の良さも継承していくこ
とが重要だと考えており
ます。

教育には、子どもたち
を現在の社会に適応する
人間に育てる取り組み
と、現在の社会を変革し
未来の社会を創造する人
間に育てる取り組みの2
つがあります。今、教育
の不易と流行をしつかり
見極めながら、次の時代
を担う子どもを育ててい
くことが求められている
と考えております。

そのためには、これま
で受け継がれてきた伝
統、文化、歴史を次の世
代に伝え、そして子ども
たちが、それをもとにし
て、自分たちの力で困難
に立ち向かい、様々な課
題を解決し、新しい時代
をつくる力を身に付ける
ことができるように育て
ることが必要だと考えて
おります。

また、社会は様々な価
値観を持つものが、それ
ぞれの能力や資質によつ
て役割を分担し、共同す

私たちはこうした動き
に適切に対応していくと
ともに、併せて、過去か
ら受け継がれてきた教育
の良さも継承していくこ
とが重要だと考えており
ます。



ることで作り上げられてきました。そのため、次の時代を担う子どもたちが、様々な人間と共同し、未来を切り拓いていけるよう、自分で考え、判断し、その考えを自分で語れること、そして人を思いやり、役割を分担して、集団や社会を支えることに全力を尽くせるように子どもたちを育てることが重要だと考えております。

社会性や規範意識を高めることで「徳」はもとより「知」「体」の更なるステップアップにも、つなげてまいりたいと考えております。

地域教育では、日高村の自然・歴史・文化を大切にし、村民の皆様が更に、日高村を誇りに思い生涯にわたって、いきいきと学び合い、育ち合う地域教育の実現を目指してまいりたいと考えております。

私は、その取り組みを進めるために、日高村の教育行政の基本目標を「たくましく心豊かなひとづくり」とし、学校教育では、一人ひとりの子どもの良さを伸ばしながら、確かな学力を身に付け、豊かな心と健やかな身体の調和のとれた学校教育を進めるために、本年度は、特に自己肯定感や自己有用感といった子どもたちの、本来持つ力や可能性を引き出す開発的な生徒指導や組織的に生徒指導を行うための学校経営の改善に取り組み、こうした取り組みによって、子どもたちの自尊感情を育むとともに、

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が村民の皆様お一人おひとりが幸多き年となりますように心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



尾崎 政廣
(日高村議会議長)

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様方におかれましては、輝かしい平成27年の新春をお迎えのことと、日高村議会を代表いたしまして、心からお慶びを申し上げます。

村民の皆様には、常日頃から村議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月には村議会議員任期満了により1名の仲間議員のご勇退と村議会議員の改選が行われ、1名の新人議員とともに全10名の仲間により日高村の振興と発展、そして安全・安心の村づくりを目指し議会人として議会一丸となりスタートしました。

8月には、台風12号、11号が続けて来襲し暴風と豪雨により村内各地で多くの家屋や施設等が冠水するといった大きな被害を受けました。しかし村民の皆様は復旧への強い意志と共助、消防団や各種団体のご協力、そして村内外から多数のボランティアの皆様方にお越しいただき、早期の復旧ができましたことに感謝するとともに心より感謝をいたしました。この災害の教訓により強固な防災と減災の実現に向けて、村と議会は一丸となり国、県への要望活動を精力的に取り組んでいまして、報告しておきます。

11月には、村民が待望しておりました「むらの駅ひだか」が盛大にオープンを行いました。村の駅ひだかが村の農業と商工業、そして日高村観光の活性化につながることを大いに期待し、近い将来「むらの駅ひだか」が「道の駅ひだか」へと成長することを願っています。

また、議員改選後は円滑な議会運営に、村民の皆様と議員の皆様のご支援とご協力をいただき努めさせていただいております。この重職に就き身に余る光栄と同時に、その責務の重大さに新年を迎え、あらためて身の引き締まる思いをいたしております。今後とも、村民の皆様は負託にこたえられるよう、心をひとつに英知を結集して、村政発展に精力的に臨んでまいりますので、日高村議会への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

9月には、沖名残土処理場跡地に県、村、民間の3者により設立された、こうち・ひだかメガソーラー発電事業会社の発電所建設が着手され、自然エネルギーの活用による環境対策となり、早期の完成が待たれます。

また、10月には村制60周年記念式典を村民の皆様、そして高知県選出の国會議員の先生方、並び

に国、県、近隣市町村から多くの方々に、ご臨席を賜り盛会にお祝いすることができました。これもひとえに村民の皆様と今日の日高村を築かれた先人の方々の偉業によるものと感謝をいたしました。

◆日高村役場

村 長 戸 梶 眞幸

副 村 長 谷 本 勲

教 育 長 片 岡 信次

総務課長 森 下 純男

補 佐 青 木 史

会計管理者 川 村 正仁

健康福祉課長 松 岡 一宏

補 佐 森 下 和知

東部・西部福祉館長

住民課長 森 下 多津子

補 佐 森 下 輝夫

建設課長 森 下 浩明

補 佐 大 川 内慎治

産業環境課長 山 崎 明

補 佐 藤 田 浩

補 佐 藤 原 信太郎

(県交流職員)

議会事務局長 山 中 鶴幸

教育次長 井 上 孝子

子ども支援室長 須 藤 静

他職員一同

◆日高村議会

議 長 尾 崎 政廣

副 議 長 西 川 龍子

◆総務常任委員会

委 員 長 壬 生 豊秀

副 委 員 長 矢 野 孝明

委 員 岡 本 光男

森 下 雅文

◆経済建設厚生常任委員会

委 員 長 野 村 重夫

副 委 員 長 森 下 芳文

委 員 西 川 龍子

◆議会運営委員会

委 員 長 森 下 雅文

副 委 員 長 森 下 芳文

委 員 野 村 重夫

壬 生 豊秀

◆議会広報発行調査特別委員

会 長 森 下 芳文

副 委 員 長 戸 梶 章

委 員 岡 本 光男

野 村 重夫

◆日高村振興対策特別委員会

委 員 長 岡 本 光男

副 委 員 長 矢 野 孝明

委 員 森 下 雅文

壬 生 豊秀

◆日高村治水対策特別委員会

委 員 長 矢 野 孝明

副 委 員 長 森 下 雅文

委 員 壬 生 豊秀

森 下 芳文

◆選挙管理委員会

委 員 長 森 岡 正男

職務代理 西 川 康夫

委 員 野 村 芳夫

門 田 明

◆監査委員

矢 野 貞雄

野 村 重夫

◆農業委員会

会 長 戸 梶 忠俊

職務代理 中 山 眞一

委 員 森 下 武英

川 瀬 健

森 下 清徳

富 田 三男子

中 山 美佳

正岡美知男

◆高知県森と緑の会

日高村支部協議会

支 部 長 戸 梶 眞幸

副 支 部 長 戸 梶 昭澄

監 事 野 波 晃男

委 員 尾 崎 政廣

森 泉

矢 野 忠茂

◆日高村表彰審査委員会

委 員 尾 崎 政廣

壬 生 豊秀

坂 東 昇

森 下 有策

森 下 雅夫

野 波 晃男

横 山 泰昌

矢 野 孝明

森 下 順子

◆日高村消防団

団 長 矢 野 孝明

副 団 長 瀧 谷 強

藤 岡 利幸

森 下 卓也

◆福祉館運営審議会

副 委 員 長 西 森 和

沖名分団長 山 本 牧主

岩目地分団長 川 瀬 康

東部分団長 中 野 薫

西部分団長 大 川 孝行

◆仁淀消防組合日高分署

分 署 長 隅 田 順

◆民生委員・児童委員

会 長 野 口 功

副 会 長 川 富雄

委 員 田 中 久子

森 岡 操

垣 内 陽三

松 木 敏一

大 川 愛子

谷 本 すが

森 下 精二

門 田 美恵

大 野 一彦

山 脇 靖幸

主任児童委員 森 下 忠道

中 山 園

◆国民健康保険運営協議会

委 員 長 西 川 龍子

委 員 野 村 重夫

森 下 芳文

松 本 和博

岡 本 和夫

大 川 啓司

鎮 西 幹

◆福祉館運営審議会

副 委 員 長 西 森 和

委 員 秋 本 年晴

谷 聰子

岡 本 憲二

尾 崎 政廣

吉 岡 優誠

片 岡 信次

山 内 浩江

◆身体障害者相談員

西内恵美子

◆知的障害者相談員

大 川 わき

◆人権擁護委員

前田巳千子

松 井 通夫

◆保護司

大 川 俊彦

鎮 西 徹於

中 山 寛

正岡美知男

◆行政相談員

中 村 宏一

◆教育委員会

委 員 長 鎮 西 範於

委員長代理 植 田 豊年

委 員 中 山 園

瀧 本 繁廣

片 岡 信次

◆学校

教育 長 片 岡 信次

日下小学校長 辻 明美

能津小学校長 坂 本 隆志

加茂小学校長 森 山 晴子

日高中学校長 吉 岡 優誠

加茂中学校長 久保 成悟

◆日下小学校運営協議会

委員長 矢野 忠茂

委員 森谷 研司

委員 濱田 春恵

委員 安岡 千春

委員 吉村 武志

委員 辻 明美

委員 大黒 美和

委員 大崎 康成

◆日高中学校運営協議会

委員長 中山 哲夫

委員 中山 三三

委員 下元 誠一郎

委員 横山 敬子

委員 吉岡 優誠

委員 小松 展茂

◆少年補導育成センター

所長 片岡 信次

補導専門職員 竹田 加奈

◆少年補導育成センター運営委員会

委員長 久保 成悟

副委員長 森山 晴子

委員 坂本 隆志

委員 野口 功

委員 岡林 辰典

委員 尾崎 政廣

委員 鎮西 徹於

委員 澁谷 研司

◆日高村自治会長会

会長 戸梶 昭澄

副会長 門田 晃和

◆文化財保護審議会

会長 澁谷 良雄

副会長 前田 拓藏

委員 森本 俊一

委員 正岡 澄雄

委員 田中 登茂子

委員 林 實

◆教育相談所

所長 尾崎 誠一

相談員 片岡 信次

相談員 楠 幸

◆日下公民館

館長 濱田 義久

主事 山内 浩江

運営審議会委員 澁谷 和枝

矢野 靖

黒岩 強志

中山 三三

坂東 昇

井上 安恵

山岡 弘子

小島 静江

館長 下元 誠一郎

主事 西 昌代

運営審議会委員 壬生 米昭

壬生 米昭

大川 啓司

大藤 里香

西川 美代子

◆社会教育委員

矢野 忠茂

森岡 まゆみ

森下 好孝

鎌倉 一希

松岡 慎治

谷口 秀司

藤原 登彦

岡上 正弘

柏井 清夫

松木 敏一

前田 修平

大川 啓司

山岡 茂男

森本 俊一

森下 順子

大崎 江美

森下 桂子

尾崎 恵美子

岡林 哲男

片岡 三知

長尾 伸子

坂本 隆志

和田 智江

寺尾 隆太

吉岡 優誠

西山 浩生

支部長 山下 忠一

廣井 正美

上岡 一彦

川瀬 卿宥

中野 益隆

戸梶 雅夫

和田 明美

中山 健彦

森下 純男

中野 薫

秋本 年晴

戸梶 まき

大崎 江美

中野 絵里子

片田 教子

和田 明美

門田 三恵

中山 京子

川瀬 英子

藤原 ちさと

濱田 義久

辻 明美

山岡 弘子

森下 順子

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

横山 泰昌

濱田 征幸

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

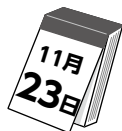
他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同

他役員一同



ひだか茂平マラソン2014

11月23日、日高村総合運動公園をメイン会場として、ひだか茂平マラソン2014が開催されました。本大会は、日高村健康マラソンとしては第32回、ひだか茂平マラソンと銘打ってからは第8回を数える大会となりました。今年も県内外から、合計で1,200名を超える選手が参加され、青空のもと心地よい汗を流されました。

最多のエントリーをいただきましたハーフの部では、日下川調整池から茂平生誕の地である石田、および茂平修行の地である猿田洞を巡るコースを、700名を超えるランナーが走り抜けました。

また、メイン会場である日高村総合運動公園においては、マラソン参加者に豚汁配布などのほか、トマトパスタ早食い競争やお楽しみ抽選会などの各種イベントの開催、および様々な出店があり、走り終えたランナーの皆様はもちろん、応援にきた家族の皆様方にも日高村を楽しんでいただけたかと思います。

本大会の開催にあたっては、自治会関係者の皆様をはじめとして、消防団や食生活改善推進協議会など村内各種団体より合計370名を超えるボランティアの皆様方から、事前のコース沿道清掃活動や当日の各種業務など多大なるご協力を賜り、また警察関係者や消防署、日赤などその他の各種団体からもご協力いただきまして、無事開催することができました。この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。また、コース近隣にお住まいの皆様方から、選手への温かい激励とご声援をいただきましたこと、大会についてご理解ご協力いただきましたことに、重ねて御礼申し上げます。次回の開催につきましても、ご理解ご協力いただきますよう、お願いいたします。

たくさんのご声援
ご協力をいただき
ありがとうございました！



©くさか里樹



ハーフの部スタート時の様子。
今年もたくさんのランナーが日高村を駆け抜けました。
(写真提供：オールスポーツコミュニティ)



恒例のトマトパスタの早食い競争、マラソンに負けず劣らず、熱い戦いが繰り広げられました。



表彰の様子。
入賞されました皆様、おめでとうございます！



村の駅ひだか グランドオープン



11月16日、午前10時より村の駅ひだかのオープニングセレモニーが盛大に行われました。

式典では、約60名の関係者の出席のもと、テープカットや環頭太鼓の演奏が行われ、餅投げには1,000名を超える参加者で賑わいました。

また、11時の開店と同時に直販スペースでは、日高の新鮮な野菜などの他、トマトの新商品として「とまからスティック」や「玄米オムすび」などが販売され、日高村商工会による特産品コーナー「エキチカ」や、全部で12種類のボリューム満点なモーニングセットが楽しめる「ムラカフェひだか」、特産トマトや季節の乾燥野菜を使ったスープや濃厚ミルクソフトクリーム、トマトうどんなどを販売する「とまとすたんど」、村の案内所などもオープンし、初日は868名の方にご来店いただきました。

村の産業振興の拠点施設として発展していただきたいと思いますので、今後とも多くの皆様にご来店いただきますよう、よろしくお願い致します。



テープカットの様子



オープン直後の店内



環頭太鼓によるオープニングセレモニー



餅投げ

県立日高養護学校と協定締結

12月3日に、県立日高養護学校と土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町及び日高村の6市町村で、「災害時における広域福祉避難所の設置運営に関する協定書」への調印式を行いました。

これは、大規模な地震、風水害その他の災害が発生した場合に、一般の避難所では生活することが困難な「障害児者」への避難生活支援について、県立日高養護学校に開設する福祉避難所の設置運営に対する高知県教育委員会の協力に関し、必要な事項を定めたものです。

今後は、県立日高養護学校と6市町村が協力し、体制整備を行うとともに、訓練等を実施していくこととなります。

なお、水害時に日高村の避難所となることについては、変更はありません。





くらしの情報 Information お問い合わせはこちらまで

役場(本庁)

住民課	☎24-5111
出納室	☎24-5111
健康福祉課	☎24-5112
国保(給付)	☎24-5112
総務課	☎24-5113
建設課	☎24-5114
教育委員会	☎24-5115

議会事務局	☎24-7777
包括支援センター	☎24-5197

出先機関

産業環境課	☎24-4647
子ども支援室	☎24-4411
保健センター	☎24-5001
下分ふれあいプラザ	☎24-5440

本郷ふれあいプラザ	☎24-4136
能津出張所	☎24-5141

☎ 村内無料電話

「24」の前に「7」をつけて発信してください。
ただし、利用するには、IP告知端末と電話機の接続が必要です。

～国民健康保険係よりお知らせ～

0歳から74歳の方で、会社の健康保険などに加入していない方は国民健康保険(国保)に加入手続きを、国保加入者が会社の健康保険などに加入したときは、国保脱退の手続きをしなければなりません。また、その他にも次のような手続きがありますのご注意ください。

こんなときは必ず14日以内に届け出てください。

○国保に加入が必要なとき

こんなとき	手続きに必要なもの
他市町村から転入したとき(※他の健康保険に加入していない方)	印かん・転出証明書
職場の健康保険を脱退したとき、又は被扶養者からはずれたとき	印かん・職場の健康保険でなくなった(被扶養者でなくなった)証明書
子どもが生まれたとき(国保)	印かん・母子健康手帳
生活保護を受けなくなったとき	印かん・保護廃止決定通知書

○その他(国保に加入している方で)

こんなとき	手続きに必要なもの
退職者医療制度に該当したとき(60～64歳で、国民年金以外を20年以上かけた方)	印かん・保険証・年金証書
住所、世帯主、氏名などが変わったとき	印かん・保険証
保険証をなくしたり、汚れて使えなくなったとき	印かん・本人であることを証明するもの・使えなくなった保険証
修学のため、子どもが他市町村に転出するとき	印かん・保険証・在学証明書

○国保の脱退が必要なとき

こんなとき	手続きに必要なもの
他市町村に転出するとき	印かん・保険証
職場の健康保険に入ったとき、又は被扶養者になったとき	印かん・国保と職場の健康保険の両方の保険証(職場の保険証が未交付のときは加入したことを証明するもの)
死亡したとき	印かん・保険証
生活保護を受けるようになったとき	印かん・保険証・保護開始決定通知書
障害により後期高齢者医療の対象となったとき	印かん・保険証

1. 加入の手続きが遅れた場合

保険証がないため、医療機関での医療費の支払いが全額自己負担になります。
国保の加入日は手続きに来た日ではなく、今まで加入していた健康保険の資格を喪失した日にさかのぼって加入することとなります。また、国保税もさかのぼって計算するため、国保税を一度に全額納めていただくことがあります。

2. 喪失の手続きが遅れた場合

職場の健康保険に加入後、国保の保険証を使用して受診した場合、国保負担分の医療費を返還していただくことになります。また、国保税と職場の健康保険料が二重にかかった状態になります。

※医療機関にも保険変更の届け出を

職場の健康保険等は資格の取得日がさかのぼることがあります。
このため、新しい保険証が交付されるまでの間に、お手元の国民健康保険を使って医療機関で受診している場合は、至急保険の変更を医療機関に届け出てください。

【問い合わせ先】住民課国保係
☎089-24-5111
村内無料電話 ☎724-5111

国保税・住民税申告が必要な方へ

平成27年の確定申告期間は2月16日～3月16日までです。期間中は、下記の日程で申告を受け付けておりますので、申告の必要な方は期間中の申告にご協力をお願いいたします。国民健康保険の加入者は**必ず申告が必要**となっておりますので、所得が0円の場合でも、申告をしていただきますようお願いいたします。

また、平成26年1月より、申告が必要な全ての方について記帳と帳簿書類の保存が義務化されています。記帳は日々の収入や取引をまとめたノートなど、簡易な方法によるもので大丈夫ですので、取引時のレシート、領収書などと共に保存のうえ、申告会場までお持ちいただけますようお願いいたします。皆様方にはご不便をお掛けいたしますが、円滑な申告受け付けのため、ご協力をよろしくお願いいたします。

受付時間 午前9:00～午後3:30まで

日付	受付場所	対象地区
2月16日(月)	加茂ふれあいプラザ	加茂地区(岩目地東・望ヶ丘)
2月17日(火)	加茂ふれあいプラザ	加茂地区(岩目地西・平野・九頭・竜石・下の谷)
2月20日(金)	本郷多目的集会所	本郷地区
2月23日(月)	下分ふれあいプラザ	下分地区(江尻・中村・奥の谷・大橋東・鍛冶屋・鍛冶屋団地・折月北・折月南・折月団地・今宮・福良・長山田・日ノ出団地)
2月24日(火)	下分ふれあいプラザ	下分地区(暮月・西田一班～四班・西田第一住宅・西田第一団地～第三団地・光岩・小村・国岡南・国岡・県住・鍛冶屋南・日高東)
2月26日(木)	沖名集会所	沖名地区
3月 1日(日)	商工会議室	全村
3月 3日(火)	能津公民館	能津地区
3月 5日(木)	商工会議室	全村





国民年金のおはなし

気になる年金のこと。もっと詳しく!!

～新成人の皆さんおめでとうございます～ 20歳になったら国民年金

国民年金を含む公的年金の制度とは、年をとったときやいざというときの生活を、働いている世代みんなで支えようという考えでつくられた仕組みです。

若いときに公的年金制度に加入して、保険料を納め続けることで①年をとったとき、②病気やケガで障害が残ったとき、③家族の働き手が亡くなったときに年金を受け取ることができる制度です。

日本国内にお住まいの20歳以上60歳未満のすべての方に、国民年金への加入が法律で義務付けられています。原則的には保険料を納めなければ年金を受け取ることができませんが、低所得などにより保険料を納めることが困難な方のために保険料免除制度があります。

20歳を迎えたら、国民年金の第1号被保険者になるための手続きを行ってください(ただし、既に第2号、第3号被保険者になっている場合を除きます)。

①「国民年金資格取得届」を役場もしくは年金事務所に提出してください。

- ・保険料の若年者納付猶予制度や学生納付特例制度の申請書を同時に提出することもできます(学生納付特例制度の申請をされる場合は、学生であることの証明が必要です)。

②「年金手帳」が届きます。

- ・保険料納付の確認や将来年金を受け取る際に必

要です。大切に保管してください。

③「国民年金保険料納付書」が届きます。

- ・納付書で保険料を納めてください(20歳の誕生日の前日が含まれる月からの分からの保険料)。
- ・保険料は金融機関のほか、コンビニエンスストアでの納付、電子納付もできます。また、口座振替やクレジット納付も可能です。



【問い合わせ先】高知西年金事務所 国民年金課 ☎088-875-1717
日高村役場 住民課 ☎0889-24-5111 村内無料電話 ☎724-5111

心の相談日

ストレスがたまってなんだかやる気がでない、気持ちがすっきりしないなど、病院に行くほどではないけれど、誰かに相談したい方はいらっしゃいませんか?

(例)

気分がすぐれない...

アルコールがやめられない...

夜、眠れない...



その他、物忘れ、認知症に関するご相談もお受けしています。ご本人はもちろんですが、ご本人が相談に来られない場合はご家族の方の相談もお受けしています。

必要であれば医師と訪問もしています。お気軽にご相談ください。

■ 日時 平成27年2月5日(木) 午後2時～4時

■ 場所 日高村保健センター

■ 医師 上村直人先生(高知大学医学部附属病院 精神科医)

※プライバシーに配慮し、秘密は厳守します。相談は無料です。

★予約制となっておりますので、相談ご希望の方は保健センターまでご連絡ください。

【問い合わせ先】

日高村保健センター ☎ 24-5001

村内無料電話 ☎ 724-5001

専門家にマシントレーニングを習ってみませんか



日高村には『日高村高齢者健康センター(通称:健康センター)』と呼ばれる運動施設があり、写真のようなトレーニングマシンが6台整備されています。これらのマシンでトレーニングすることで普段使わない筋肉を徐々に呼び覚まし、動きやすい身体をつくれます。

その『健康センター』で皆さんが気軽に安心してトレーニングできるよう、月1回運動の専門家である理学療法士が、身体に応じたマシンの使い方や再設定等を教えてくれる時間を設けました。通常健康センターの利用料で老若男女どなたでも教えてもらえるのでとってもお得です。下記の日時にて実施しております。事前予約も必要ありませんのでお気軽にお越しください。

★ 開催日時: 27年1月19日(月)午前9時～12時

27年2月19日(木)午後1時～4時

27年3月10日(火)午前9時～12時

★ 場 所: 日高村高齢者健康センター



トレーニングマシンの例



【問い合わせ先】日高村地域包括支援センター(健康福祉課内) ☎24-5197 村内無料電話 ☎724-5197

平成27年4月から 子ども・子育て支援新制度がスタートします

平成24年8月に国の子ども・子育て関連3法が成立し、新たに「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度より本格的にスタートすることになりました。

子どもや
家庭にとって
何が変わるの？



★保育所・幼稚園等の利用手続きが変わります！

新制度のスタートに伴って、保育所や幼稚園等を利用する際の手続きが変わります。保育所や幼稚園などの利用にあたっては、教育・保育の必要性に応じた **支給認定** を受ける必要があります、3つの認定区分によって利用先が決まります。**ただし、手続きは、これまでと大きく変わるものではありません。**

(1) 支給認定の種類

支給認定区分	対象となる子ども	利用できる施設・事業
1号認定	満3歳以上で教育を希望する場合	幼稚園、認定こども園
2号認定	満3歳以上で保育が必要な場合	保育所、認定こども園
3号認定	満3歳未満で保育が必要な場合	保育所、認定こども園、地域型保育事業

(2) 保育の必要量に応じた区分

2号認定または3号認定を受ける方は、保育の必要量によって更に「保育標準時間」または「保育短時間」に区分されます。なお「保育標準時間」と「保育短時間」では利用できる時間が違ってきます。

☆保育標準時間・・・フルタイム就労を想定した利用時間（最長11時間）

☆保育短時間・・・パートタイム就労を想定した利用時間（最長8時間）

※「保育短時間」利用が可能となる就労時間の下限は、日高村では**1カ月あたり48時間としています。**

また、現在入所中の場合は、保育時間が現在の利用時間から短くならないよう、経過措置があります。

★保育所や幼稚園などの利用料金はどうなるの？

基本的な考え方は、現行の保育料の仕組みと変わりません。幼稚園についても保育と同様の仕組みが適用されます。

保育料の算定について

○これまでは「現年度所得税額」により保育料を決定していましたが、
新制度では年2回（4月～8月と9月～3月）の「前年度及び現年度の市町村民税額」に変わります。

平成27年

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

平成26年度（H25年中）の
市町村民税割額に基づく保育料

平成27年度（H26年中）の
市町村民税割額に基づく保育料

※新たな保育料の額は、現在検討を進めております。

保育所・認定こども園などでの保育を希望される場合

村に認定申請と
利用申し込み



支給認定
(2・3号)



入所選考



入所内定



入所

幼稚園・認定こども園での教育を希望される場合

施設に直接
利用申し込み



入園内定



施設を通じて
村に認定申請



支給認定
(1号)



入園

※保育を必要とする事由に該当しない場合は、1号認定となり、保育所の利用はできません。



平成27年度 保育園児を募集

保育所に入所を希望される方は日高村教育委員会・子育て支援センターおよび各保育所でお渡しする申込書に必要事項を記入し、入所申込案内書に記載された必要書類を添えてお申し込みください。

申込期間

平成27年1月5日(月)～
2月2日(月)

(土日以外)

午前8時30分～午後5時

入所基準

- ①就労(居宅外・居宅内)
- ②妊娠・出産
- ③疾病・障がい
- ④介護・看護
- ⑤災害復旧
- ⑥求職活動
- ⑦就学
- ⑧社会的事由
- ⑨育休中の継続利用
- ⑩その他



申込先

村内保育所又は日高村教育委員会

★新規入所の申込先は、日高村教育委員会まで

社会福祉法人日高児童福祉協会

☆日下保育園(定員105名)

☎ 24-5925

☆加茂保育園(定員40名)

☎ 24-7367

☆日下保育園能津分園(定員15名)

☎ 24-5287

※保育内容などにつきましては、直接保育所にお問い合わせください。

※広域入所(他の市町村にある保育所への入所)については、相手方市町村との協議が必要となりますのでお早めに申請書の提出をお願いいたします。(市町村の状況によっては、ご希望に添えない場合もあります。)

※村内いずれの保育所でも混合保育となる場合があります。

日高村教育委員会

☎24-5115

村内無料

☎724-5115



“うす味・もち味・ほんとうの味”で高血圧予防

今年のお正月・いい食生活で・一年中元気に過ごしましょう！

高血圧予防の食事のポイントは、うす味でもおいしく、素材のもち味を生かし、天然だしを使ったほんとうの味で、おいしく食べること！
「一日の食塩目標摂取量 8グラム以下」です！

塩分をとりすぎると体内に水分を呼び込み、血圧が高くなります。

血圧が高い状態が続くと、血管に負担がかかり、「脳卒中」「心筋梗塞」「腎不全」などの要因に。

◇「ふだんどれぐらい塩分をとっているか」チェックしてみよう！

各項目をチェックして、合計点数を出してください。

塩分チェック表		3点	2点	1点	0点
食品を食べる頻度	みそ汁、スープなど	1日2杯以上	1日1杯くらい	週2～3回	あまり飲まない
	漬物、梅干しなど	1日2回以上	1日1回くらい	週2～3回	あまり食べない
	ちくわ、かまぼこなどの練り製品		よく食べる	週2～3回	あまり食べない
	あじの開き、みりん干し、塩鮭など		よく食べる	週2～3回	あまり食べない
	ハムやソーセージ		よく食べる	週2～3回	あまり食べない
	うどん、ラーメンなどの麺類	ほぼ毎日	週2～3回	週1回以下	食べない
	せんべい、おかき、ポテトチップスなど		よく食べる	週2～3回	あまり食べない
しょうゆやソースなどをかける頻度は？		よくかける（ほぼ毎食）	毎日1回はかける	時々かける	ほとんどかけない
うどん、ラーメンなどの汁を飲みますか？		全て飲む	半分くらい飲む	少し飲む	ほとんど飲まない
昼食で外食やコンビニ弁当などを利用しますか？		ほぼ毎日	週3回くらい	週1回くらい	利用しない
夕食で外食やお惣菜などを利用しますか？		ほぼ毎日	週3回くらい	週1回くらい	利用しない
家庭の味付けは外食と比べていかがですか？		濃い	同じ		薄い
食事の量は多いと思いますか？		人より多め		普通	人より少なめ
合計		点			

合計点	塩分摂取量
0～8	少なめ。引き続き減塩を行いましょう。
9～13	平均的。日頃からもう少し減塩を意識しましょう。
14～19	多め。食生活での減塩を工夫しましょう。
20以上	かなり多い。食生活を基本的に見直しましょう。

公益社団法人 日本栄養士会発行：健康増進のしおり 2014-1 より

やってみよう！無理せず減塩

- 新鮮な素材を選ぶ
（素材のもち味を生かすと、うす味でもおいしい）
- 生姜やにんにく・レモン・酢を上手に利用し、うす味に変化を
- 天然だしのうま味でおいしく減塩を（ほんとうの味がわかる）
- ラーメンやうどんなど、めん類のスープはできるだけ残す
- しょうゆやソースは、「かける」ではなく「つける」
- 昼食で塩分をとり過ぎたときは、夕食で塩分を控える



☆お知らせ①

日高村食生活改善推進員が、1月から2月にかけて、皆様方のお宅を訪問し、味噌汁などの塩分測定を実施し、減塩の普及啓発を行う予定です。皆様方、ご協力よろしくお願いします。

☆お知らせ②

うす味で、おいしい料理教室を日高村食生活改善推進員が実施します。

日時：1月17日(土) 10時～13時

場所：日高村保健センター

*要予約(同封チラシ参照)

【問い合わせ先】日高村保健センター ☎24-5001 村内無料電話 ☎724-5001

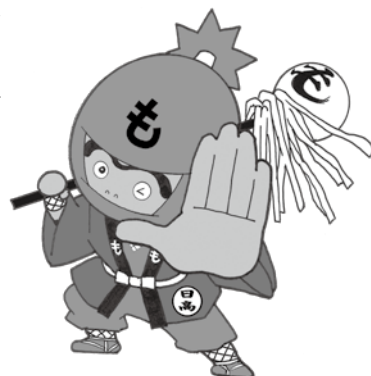
日高村消防団へ防災広報車が配備



新しく配備された防災広報車

日本消防協会福祉共済事業より日高村消防団に新しく防災広報車が配備されました。

この事業は、日本消防協会が毎年消防車両を全国の消防団に対し寄贈しているもので、今回は日高村消防団が選ばれ、そのうちの一台を交付されるものとなりました。



11月の行事は、県が委託、派遣する団体や講師を招いて実施する「子育て講座」を開催しました。

11月7日「幼児体育」

一般社団法人 Uープロジェクトの河合先生による「幼児体育」が行われました。講師紹介後、河合先生の挨拶代わりに「倒立」で会がスタート。お母さん、子どもたちから「おお！」と拍手が沸き起こりました。

子どもを膝にのせ、ふれあいながら行うウォーミングアップでは、「結構きついな」「わたしの運動になる」とお母さん。また身近にあるスプーン、ピンポン球、紙コップ、ビニール袋、色紙を使ったそれぞれのあそびも紹介いただき、特別な道具を使わなくても十分有意義な運動になり、子どもも夢中になることを実感しました。

先生からはひとつひとつのあそびに込められた「ねらい」をわかりやすくお話していただいた他、親子でふれあいながら身体を動かすことで得られる5つの効果（①工夫することで知的面の向上②体力の向上③社会性づくり④心の居場所づくり⑤子どもの成長を確認できる）を教えてくださいました。

ふれあいの時間を大切に、楽しみながら子どもの能力を伸ばしていきたいですね。

〈おかあさんのこえ〉

- ★家で簡単にできそうなものばかりで楽しかったです。私の体力づくりにも良さそうです。
- ★子どもだけでなく、親も身体を動かしながら楽しくできました。
- ★すごく楽しかったです。「この時期はこういう運動をすると、こういう効果がある」など、説明も聞けてよかったです。
- ★親子のスキンシップになり、身体もぽかぽかになりました。
- ★身体を動かすのは好きですが、家庭ではなかなか上手にできないこともあります。今日は興味のあるあそびだと楽しんでやっていたので、続けていきたいと思います。また、体幹バランスを鍛えてあげようと思いました。
- ★日常のスキンシップがマンネリ化していたので、今日習った運動が簡単なのに新鮮でした。ぜひ毎日親子で体操したいです。



子育て相談もしています。また「もこもこ教室」と題し、親子の触れ合う時間を通して子どもへの関わり方や支援方法を一緒に考えていきます。ご利用ください。

1月のお知らせ

●すくすく広場

1月30日（金） 午前10時～11時30分
（保健センター内・子育て支援センター室）
「キッズエアロ教室」を開催します。親子で身体を動かしましょう♪
申し込み締切日：1月26日（月）

●絵本でぱびいら

1月22日（木）
午前10時～11時30分（申し込みは不要です）



最寄駅 日下駅から0.3km 徒歩7分

子ども支援室 ☎24-4411 村内無料 ☎724-4411

日高村
保健センターの
中にあるよ



1月

コスモス文庫通信

11月の入館者数 369人



謹賀新年!



新年明けましておめでとうございます。昨年11月下旬から現在、休館させていただいています。日頃図書館をご利用されている皆様には大変ご不便をおかけしております。只今、仮図書館開館に向け、猛烈に頑張って移転作業をしていますので、本年も何卒、日高村立図書館をよろしくお願ひします。

仮図書館 開館日の案内

開館日が決まりましたら、IP端末での放送や、ホームページ、現・仮図書館の玄関に掲示等で、ご案内いたします。1月下旬頃になりましたら、確認をよろしくお願いいたします。なお、仮図書館は空調が十分ではないので、暖かい格好でご来館くださいませ。

古雑誌、ご自由にどうぞ!

保存年限が過ぎた古雑誌を、「ご自由にどうぞ」コーナーにまとめております。仮図書館が開館し、ご来館の際にはぜひチェックしてみてください。

移動図書館バスの場所が変わります!

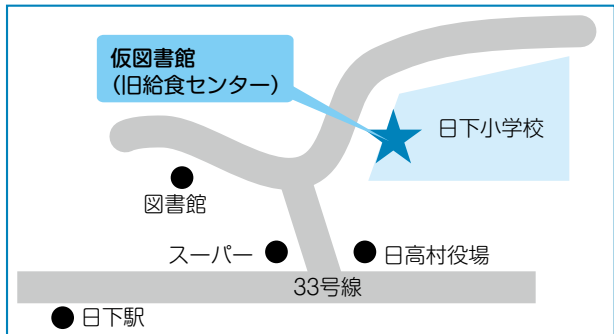
今月から新図書館が開館するまで、県立移動図書館バスの場所が一部変更します。

今まで → 今月から
日高村立図書館前 → 仮図書館(旧給食センター)前
時間は今まで通り10:00～11:50です。また、加茂公民館(13:00～13:40)、能津公民館(14:30～15:10)は変更ありません。

★1月の予定

- 1/14(水)16:00～17:00 朗読クラブ
(3月の発表に向け、14日から毎週練習します。)
1/28(水)16:00～16:30 おはなし会(日高読もう会)
＜能津公民館＞
1/31(土)11:00～11:30 おはなしの森(朗読ひだか)
1/31(土)10:00～15:10 県立移動図書館バス
＜午前中は仮図書館前＞

★仮図書館 簡易map



◆“仮”図書館利用案内◆

- ◎開館(予定) H27年1月下旬頃
◎開館時間 午前10時～18時
◎休館日 月曜・祝日・最終日曜・年末年始
◎貸出 ひとり5冊まで、2週間
日高村本郷192 ☎0889-20-1533
<http://www.kochinet.ed.jp/hidaka-v/>

生涯学習フェスタ

『ひだかの日』

2/7(土)
8(日)

テーマ:「日高の良いいこ! 高知の良いいこ! 再発見」
～第50回生涯学習大会・日高村総合美術展・村民大学～

日高村における生涯学習に関する様々な発表・学習・学びの場をあらゆる方面からリンクさせ、広く村民同士の交流を深めることで、日高の教育をより一層発展させることを目的として生涯学習大会・日高村総合美術展・村民大学を2日間にかけて開催いたします。

2/7(土)

日高村総合美術展

9時～17時 保健センターなど

村民大学(文化財講演会)

15時～16時40分「日高のお宝、国宝小村神社環頭大刀を知ろう」(無料)
講師: 宅間一之(たくまかずゆき)氏
高知県歴史民俗資料館 顧問

ひだかdeおきやく

17時～19時 社会福祉センター
参加費: 大人3,000円
子ども500円

2/8(日)

日高村総合美術展

9時～17時 保健センターなど

生涯学習大会

社会福祉センター2F大ホール

10時 教育委員会・教育長表彰
10時50分 「ホンヤミカコさんnoオカリナコンサート」(無料)
12時 ホンヤミカコさんサイン会(CD販売あり。サイン希望の方は色紙を各自ご持参ください)

問い合わせ先 日高村教育委員会 ☎24-5115 村内無料☎724-5115



第25話

『地域とともにある学校づくり』

を目指して…

■先進地視察研修報告（大川村立大川小中学校）

11月15日、大川小中学校へ委員8名にて先進地視察研修に行ってきました。

研修は、午前中は学校長及び委員さんによる学校運営協議会のお話と取組事例の意見交換、午後は学芸発表会の「大川っ子キラキラフェスティバル」に参加し、小中学生の発表や学校運営協議会の説明を聞きました。

人口421人で離島を除き全国で一番小さい村である大川村では、小中学生あわせ36名が在籍しており、うち15名がふるさと留学生として他県より留学しています。そのような多様性がある環境にも関わらず、大川小中学生の様子を見た日高村の委員さんからの第一印象は、「みんな素直で、どの子が地元の子か分らなかった」「人見知りがなく落ち着いている」など、大人も子どもも自然に付き合っている環境に驚いている声がありました。



黒瀬校長より学校運営協議会の取り組みの説明



地域に開かれた場での学生の研究発表会

その背景には、住民の声を活かす仕組みとした学校運営協議会を根本に、地域の伝統文化の伝承や地域の産業文化祭に併せての学芸会の開催など地域と密着した取り組み、生徒が発案したキャラクターが村公認になるなど、子どものアイディアを大人が実現する取り組みや、地域だけでなく教職員や生徒と意見を交わす意見交換会の開催など情報の共有や収集の場の設置など、さまざまな工夫や地域の特色のある学校づくりが見られました。このような取り組み・関わりが、学習意欲の向上や自尊心の向上など子どもたちの変化として見えてきており、また、教員や地域・保護者にも当事者意識が生まれ、相互にプラスの変化が起きていました。

■小中合同での学校運営協議会の開催

11月27日、日下小・日高中での合同で会を開催しました。小中学校間の連携及び他の運営協議会の様子を伺うことを目的とし、今回は日高中学校でどのような会を実施しているのか日下小学校の運営協議会の方々が視察という形で行いました。

お互いの会議の様子や方針の違いを確認しあえる場となりました。

皆さんからのご質問やご意見もお待ちしております。どうぞ、お気軽にご連絡ください。
教育委員会 ☎24-5115 村内無料☎724-5115 FAX 20-1572

第45回日高村総合美術展

日時:2月7日(土)~8日(日) 9時~17時
場所:日高村保健センター(大ホール)

作品募集

一般の部 出品規程

- ・日高村住民及び本村に関係のある方
- ・作品は無審査とする
- ・作品搬入 2月6日(金) 13時30分~17時
※6日以前に搬入を希望される場合は教育委員会にご連絡ください
- ・作品搬出 2月8日(日) 17時~18時
2月9日(月) 9時~12時
- 絵画の部 一人4点まで
作品の大きさは自由・額縁必要
- 書道の部 一人3点まで 表装が原則
- 写真の部 一人3点まで 枠張り・額または台紙



- 手芸の部 一人5点まで
- 生花の部 一人2点まで
- 工芸の部 一人3点まで
- 彫塑の部 一人1点まで
- 俳句の部 一人5点まで



○園児・児童・生徒の部

村内の保育園児、小中学校児童生徒の作品を展示いたします。

※生涯学習大会も同日開催いたします(詳細は新聞チラシにてお知らせします)

問い合わせ先 日高村教育委員会 ☎24-5115 村内無料☎724-5115

学習発表会・ キャリア教育講演会を行いました。



日高中学校

10月12日、日高中学校では子どもたちが、各学級の「総合的な学習の時間」で学習したことや学年の行事で取り組んできたことの発表、各学級の弁論発表、吹奏楽の演奏等を行いました。

各学年は以下の題で学年発表を行いました。

(1年：さまざまな障がいと共生～日高養護学校との交流に向けて～)

(2年：修学旅行の報告～キズナを深めた3日間～)

(3年：働くとは～職場体験学習～)

また午後のキャリア教育講演会では、テレビ・ラジオでお馴染みの土佐かつおさんを招聘し「チャレンジした人にしかチャンスはない」の題で講演会を開催しました。子どもたちが自立した大人になるために身につけてほしいことや大切なことについてお話を聞きました。



学習発表会・キャリア教育講演会(講師：土佐かつおさん)の感想

□生徒の感想

○学習発表会の1年生発表では、壇上でクイズをしているところが、工夫があってとてもいいなと思った。3年生は実演しているグループもあって、わかりやすかった。来年参加する職場体験では、自分にとって役に立てるよう頑張りたい。

○かつおさんが中学生の時に抱いた夢はとても大きいもので、すごいことだと思ったし、それを実現させるまでの苦勞を聞いて、自分も頑張ろうと思いました。お話も面白かったし、聞いていて楽しかったです。

○気持ちが強ければ強いほど、一步步夢に近づけると思いました。

○中3で大阪の高校に行って、すごい勇気と決断力があるなと思った。「ウサギとカメ」の話にあった、「どこを目指すか」という言葉が印象的だった。

□保護者・地域の方々の感想

○学習発表では、学年が上がるにつれて内容も濃いものになりますね。弁論発表では各学年の代表者が大きな声で発表できており、見ていて気持ちよかったです。

○それぞれの生徒がいろいろなことを真剣にとらえ、弁論発表していることがすばらしいと思いました。

○吹奏楽部の演奏を聴き、人数が少ないことに驚きました。が少人数とは思えない演奏ができていて感動しました。



▶ 2月号は日下小学校です



「地域を支える『若い力』が日高村に加わりました -認知症サポーター養成講座-」

12月2日、加茂中学校2年生と3年生が「認知症サポーター養成講座」を受講し、36名の認知症サポーターが誕生しました。

認知症は、脳内の細胞が機能しなくなることによって発症する、誰もがかかる可能性がある「病気」です。主な症状として、記憶や計算といった機能の低下や、判断力の低下、人物や場所が分からなくなってしまう、といったものがあります。

今回、加茂中学校の生徒たちには、認知症の方の気持ちを理解してもらうために、「商店にお菓子を買いに来たが、小銭の判別や計算ができず、670円の支払いに対して仕方なく一万円札を出す」という認知症高齢者の役をロールプレイしてもらいました。「小銭がありますよね？ そちらで払ってもらえますか？」と冷たく突き放す店員に対して、生徒たちからは「認知症高齢者の役の方は焦りが出てきていた」「笑顔で優しく接してあげることが大切だと思った」などの意見がたくさん出ました。その意見を踏まえて、生徒たちには「自分が店員であればどのように対応するか」を再度ロールプレイしてもらったと、「小銭と一緒に数えていて、とても優しくなった」「店員が優しくかったので、気軽に話すことができた」と、丁寧に対応することができました。

また、「認知症の方に接する人は大変だなと思った」「周囲の人が助けてあげることが必要」といった意見も出ました。認知症の方を家族のみで支えることは非常



に難しいことです。しかし、支援する人が増えれば増えるほど、一人ひとりの負担は少なくなります。生徒たちには「自分たちにできることはなんだろう？」というテーマでグループワークを行ってもらい、「不安に感じていることを聞いてあげる」「優しく笑顔で、ゆっくり大きな声で話しかける」など、今後の目標を発表してもらいました。

近い将来において、もしも私たちが認知症になった時、今回新たに加わった36名の「若い力」は、きっと私たちとその家族を温かく支えてくれるでしょう。今後も日高村では、誰もが安心して地域で暮らしていけるような村づくりに取り組んでまいります。地域の皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

スミス日記

ALT Smith

In early November, before the cold came, I went on an outdoor adventure with some new friends in Hidaka Village. One of them was Chie Inoue, who works at the Town Office. The others were her friends: Ozaki-san, Morita-san, and Abe-san. Together, the five of us went to Ootaki Mountain and Saruda Cave. Ootaki Mountain was an exceedingly beautiful place, peaceful and serene. The hike up was fairly rigorous, but enjoyable. Being surrounded by so many large and old trees was humbling. Saruda Cave was also very cool. It was an honor to visit the place where Kusaka Mohei trained all those years ago. The cave was dark, cold, and very small—for me at least, because I'm so big! I felt quite gallant and lionhearted whilst climbing over the large boulders and romping through the many underground streams, but man oh man, was it tough for me! After everything was said and done, my body was sore for almost two days afterward. My new friends are definitely more athletic and fit than I; they climbed the mountain and traversed the cave very easily. I had a great time, but absolutely the coolest part of the trek was discovering parts of the village that I never knew existed.



寒さが厳しくなる前の11月初めに、日高村を新しい友達と一緒に冒険しました。メンバーは尾崎さん、森田さん、安部さん、そして同じ役場で働いている井上智恵さんでした。私たちは大滝山と猿田洞に行きました。大滝山はすごく綺麗で、そしてとても静かなところでした。山に登るのは大変だったけど、楽しかったです。たくさんの大きな木に囲まれて、自分がとても小さく感じました。そして心が癒やされて、リラックスできました。猿田洞もすごかったです。洞窟の中は、暗くて、寒くて、そして私にとってはとても狭かったです。だって私は背が高いから！何百年も前に日下茂平が修行をした場所を、新しい友達と訪れることができて、とても素晴らしい経験をしました。洞窟内の大きな岩を登ったり、下に流れる小川の上を歩いたりしていると、なんだか本当の冒険みたいで自分がかっこよく感じました。みんなでたくさん楽しむことができました。今回の冒険の中で一番良かったことは、私が知らなかった場所を見ることができたことです。その日の冒険が終わったあと、私はとても疲れしました。そして2日間、筋肉痛になりました。それに比べて、私の新しい友達は簡単に山に登ったり、洞窟をスイスイ進んでいくので、彼らはとてもタフだと間違いなく言えます。

平成26年度 日高村職員採用資格試験案内

1. 職種、職務内容及び採用予定人員

試験職種	職務内容	採用予定人員
一般行政職	行政事務全般の業務	1名程度
土木技術職	土木に関する技術的業務	1名程度

2. 受験資格

試験職種	受験資格
一般行政職	昭和60年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者
土木技術職	昭和55年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者 土木の専門課程を修了した者（修了見込を含む）、または土木事業の測量設計について申込時に2年以上の実務経験を有する者。

前記の受験資格を有していても、次のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 成年被後見人または被保佐人（準禁治産者を含む）
- (3) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行の終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者
- (4) 地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (5) 日本国憲法施行の日以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

3. 試験の日時及び会場

試験	日時	会場
第1次試験	平成27年2月1日(日) 午前9時00分～	日高村保健センター 日高村沖名23番地
第2次試験	平成27年2月22日(日) 予定	

※受験者数の多少により試験会場を変更することがあります。なお、会場変更する場合は、受付終了後に別途通知します。

※第2次試験に関しては、第1次試験合格者のみに別途通知します。

4. 試験の方法

(1) 第1次試験

試験科目	試験職種	内容
教養試験	全職種	初級公務員として必要な一般的知識及び教養について高校卒業程度の筆記試験
適性検査	全職種	職員として必要な適性を有するかどうかについての検査
専門試験	土木技術職	土木技術師として職務に必要な専門知識、技術などに関する筆記試験

(2) 第2次試験

試験科目	内容
作文試験	職員として必要な識見、判断力、思考力等についての作文試験
集団討論	1つの課題について集団で討論
面接試験	個人面接による口述試験

5. 受験手続

(1) 受付期間・場所

受付期間	平成27年1月6日(火)から1月19日(月)まで 午前8時30分から正午、午後1時から午後5時15分まで(土曜日・日曜日・祝日は除く) 郵便による申し込みは平成27年1月19日(月)必着に限る
受付場所	日高村役場 総務課 TEL 0889-24-5113

(2) 受験申込書の請求等

- ア. 受験申込書の配布場所 日高村役場 総務課
イ. 日高村ホームページ
<http://www.vill.hidaka.kochi.jp/>
からダウンロードできます。
ウ. 郵送による受験申込書の請求は、返信先を明記し82円切手を貼った返信用封筒を必ず同封してください。

(3) 申込方法

- ア. 受験申込書及び受験票に必要な事項を記入し、押印のうえ写真貼付欄に最近6ヵ月以内に撮影した同一の写真(上半身、脱帽正面向き)を糊付けし、総務課まで提出してください。提出された書類は返還いたしません。
イ. 郵送による受験申込みは、往信・返信とも簡易書留とし、往信封筒の表に「採用試験申込書在中」と朱書きし、返信先を明記した返信用封筒を(定型長3号の封筒に392円分の切手を貼り付け「簡易書留」と朱書き)同封して申し込みください。

(4) 受験票の取り扱い

受験票は、申し込み当日にお渡しします。郵送等による申し込みの場合は、後日お送りします。受験票は、試験当日に必ず持参してください。

6. 合格発表

第1次試験合格発表	平成27年2月初旬予定
第2次試験(最終)合格発表	平成27年3月中旬予定

※合格者の受験番号を日高村役場前掲示板及び日高村ホームページに掲載するとともに、第1次試験は合格者のみ、第2次試験は受験者すべてに可否結果を文書で通知します。

7. 採用予定年月日：平成27年4月1日

8. その他

お問い合わせ先は、
日高村役場 総務課 ☎0889-24-5113

※Eメールでの問い合わせについては、
お答えいたしませんのでご注意ください。



【問い合わせ先】 総務課 ☎24-5113 村内無料電話 ☎724-5113

仁淀消防防火カレンダー作成

仁淀消防組合では、管内(いの町・日高村)の小学校4年生から、防火図画を募集したところ、多数の応募作品が寄せられました。

いずれも秀作ぞろいでしたが、優秀作品12点、優良作品24点が選ばれました。優秀入賞者の作品を使用して、平成26年の防火カレンダーを作成しました。

管内の学校・病院・事業所等に掲示いたしますので、火災予防の啓発に役立ててほしいと願っています。

なお住民の皆様には、役場本庁支所等に置かせてもらいますので、数に限りはありますが、お持ち帰りください。



優秀賞

いの町				吉永菜奈花さん
伊野小学校	菊地 航矢さん	川内小学校	千田 美空さん	
//	宮本 翔大さん	//	横田 大樹さん	
伊野南小学校	中村 星彩さん	神谷小学校	瀧田あいみさん	
//	吉岡 壘さん	日高村		
枝川小学校	大川 優香さん	加茂小学校	大山 大吾さん	
//	鷹野 和さん	日下小学校	瀧田 実央さん	

「保護司活動に対する御理解・御協力について」

法務大臣が委嘱する保護司は、犯罪をした者や非行のある少年の地域における立ち直り支援や再犯防止のための活動を行うほか、広く地域社会における犯罪や非行の発生を予防するための活動(犯罪予防活動)を実施しています。

保護司は、保護観察の実施だけでなく、地域住民の一人として地域社会の安全・安心に貢献するという理念のもと、一般の地域住民からの相談対応、学校との連携、地域の防犯活動団体との連携・支援等地域ニーズに応じて幅広く活動しています。地域社会の連帯意識が希薄となり、治安が悪化していると感じる国民が

増加する中、地域に根ざした保護司の活動は地域連携を再生し、安全・安心なまちづくりに寄与するものと考えています。

しかし、近年、保護司のなり手不足が深刻化するとともに、保護司活動に対する地域の方々からの協力も得られにくくなるなど、保護司の負担も大きくなっており、このため、法務省においても保護司活動を支援する諸施設の充実を図っているところですが、地域におかれましても、安心・安全なまちづくりを推進する観点から保護司活動に対する一層のご理解・御協力をいただきたく、お願い申し上げます。

法務省 高知保護観察所 ☎088-873-5118 FAX088-820-0125

日高村駐在所連絡協議会総会の開催結果について

11月25日に日高村駐在所連絡協議会総会が開催されました。

会員の方々からは

- 駅に駐輪している自転車の施錠対策、放置自転車対策

- 駅周辺のパトロールの強化

等の要望がありました。

パトロールを強化し、皆様の大事な自転車の盗難防止に努めますので、皆様も自転車を駐輪するときはしっかりと施錠をするように心掛けてください。



2015年農林業センサスにご協力ください



農林水産省・高知県・日高村では、平成27年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれる「2015年農林業センサス」が実施されます。

平成27年1月中旬から農林業を営んでいる皆様のところに調査員が訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。

農林水産省・高知県 【問い合わせ先】日高村総務課 ☎24-5113 無料電話724-5113

相談

1月の行政相談

行政相談員の中村宏一さんが、左記の仕事について住民の皆さまからの苦情や意見・要望を受け、その解決や実現のお手伝いをしています。

▽例えば

- ①年金のことを聞きたい
- ②標識が分かりづらい
- ③公共施設を利用しづらい

日時

1月16日（金） 13時～15時

場所

日高村社会福祉センター
行政相談委員 中村宏一

総務課

☎24・5113
村内無料☎724・5113

ご案内

1月の犬の引き取り講習会

●引き取り日

日時

1月13日（火）、19日（月）、27日（火）



▽受付時間

8時30分～9時30分

※処理手続きの都合上、前日16時までに産業環境課まで連絡をお願いします。

産業環境課 ☎24・4647
村内無料 ☎724・4647

●講習会（犬の飼い方）

日時

1月15日（木）

13時30分～15時30分

場所

中央小動物管理センター
高知市孕東町56-2

中央小動物管理センター
☎088・831・7939

大人の水泳教室

いやつし〜土佐では、健康に關するさまざまな教室を開催しています。健康づくりや仲間作りに、教室に参加してみませんか？

【大人の水泳教室 1時間】

開催期間

2月3日～3月31日

（毎週火曜日 全9回）

講師

久保 睦、吉村加奈（水泳指導員）

料金

6,300円

定員

30名

実施時間

午前10時30分～

※この「大人の水泳教室」に、1回体験することができ「体験教室」（料金700円）

※1回分）もごさいます。

また、現在行われている「Let's 水中運動教室」（水中ウォーキングコース、アクアビクスコース）にも「体験教室」（料金400円※1回分）がごさいます。興味がある方、詳細等は「いやつし〜土佐」までお問い合わせください。

参加資格
医師などから運動の中止または制限を受けていない18歳以上の方。

申込方法
申込用紙に必要事項を記入し、「いやつし〜土佐」の受付に受講料金と一緒に持参してください。

健康増進施設いやつし〜土佐
☎088・852・7618

放送大学

放送大学では、平成27年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。

放送大学はテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。学部の入学試験はありません。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、

110番の日です！

110番は、あなたの生命・身体・財産を守る電話です。緊急の事件・事故に関する情報はためらわず積極的に110番してください。

また、急を要さない相談などは、**#9110**または警察署・駐在所等におかけください。



職業の方が学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

高知学習センターでは、大学院でも30名の方が学んでいます。

出願期間は

第1回平成26年12月1日から平成27年2月28日

第2回平成27年3月1日から平成27年3月20日

資料を無料で差し上げています。

お気軽に放送大学高知学習センター（☎088・843・4864）までご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けております。

地震・津波災害に備えよう

○揺れから身を守るポイント

- ・地震の発生を早く知る
- ・大事な頭をまず守る
- ・危険な場所から離れる

○外にいたらどうしたらいいの？

対応方法

街中を歩いていた	建物の近くを歩いている時は、ガラス窓、看板などの落下物に注意し、持ち物で頭をカバーし、身を守る場所に逃げましょう。
ブロック塀や自動販売機の横を歩いていた	倒れる恐れがありますので、すぐに離れましょう。
車を運転していたら	ゆっくり減速し、あわてず左側路肩に停車して、エンジンを停止させましょう。 ドアはロックせず、エンジンキーはつけたままにして車から離れましょう。 車外に出るときには、他の通行車両にはねられないように注意しましょう。 貴重品などは車内に残さないようにしましょう。
バス、電車内では	係員の指示に従い冷静に行動しましょう。
海や川では	高台等を目指し速やかに逃げましょう。

土佐警察署

いの警察庁舎

☎852・0110
☎893・1234

宝の山 日高村

日高村に生まれ育ち、その後長い間離れていたが、数年前から腰をおろして日高村で暮らすようになった。

当時、恥ずかしい話であるが、村民でありながら「日高村ってどんなところ？」と聞かれてうまく説明ができなかった。

そこで、自分が育った日高村をもっとよく知ろうと思うようになった。まずは自分の興味のある分野から、積極的に足を運び自分の目で観て感じとり、またいろいろな会に参加して話を聞き、一緒に実践するなどの活動を通して、これまで気づかなかった日高村の「宝」を次々と発見していった。

存在は知っていても触れてみて初めて気づくことは多くある。その一部を紹介する。

『小村神社』初詣から始まり、祈願、大祭などよく知られた神社であるが、その歴史に触れると興味が深まる。御神体である「金銅莊環頭大刀拵・大刀身」は聖徳太子の時代の御神体であり、千数百年も社殿に伝世され、きれいな形で残されている例は全国的にもない。

『日高酒倉ホール』元・名酒「松の緑」の造り酒屋で、2004年に国の登録有形文化財に指定された建物で、現在、建物の保全活動、イベント、コンサート等で広く活用されているが、その地層は約2億年前の地質の上に立っており、断層から湧き出る良質な地下水によりつくられたお酒であった。等。

その他にも大滝山、土岐山、猿田洞、龍石神社等、興味深い歴史、神話、民

大手・捌手

大手門、裏門にちなんだ編集委員が随想・評論など述べるコーナーです。

話が残されている。

そして、日高村は豊かな自然にも恵まれていて、国道から少し外れると四季の移ろいを感じる自然があり、そのスローな時間は日々のストレスをよりフレッシュさせてくれる。

その中でも生息する動、植物には希少価値のあるトンボやメダカ等、また低地にもかかわらず蛇紋岩特有の植物であるヒロハドウダンツツジの自生がみられる等々、まだまだたくさん「宝」が潜んでいる。

ところで最近、日高村を活性化していく行政の動きがみられ、日高村の知名度が上がりつつある。日高村が賑わうことは村民にとっても喜ばしいことである。

この盛りあがりを持続していくためのキーワードは村民ひとりひとりの力の結びつきではないかと思う。

現在もそれぞれの分野で活動が熱心に行われていて魅力ある活動が多い。それに横のつながりができれば日高村の「宝」についても伝え合えるし、村を盛り上げる最強の力になるのではないか？

もう一つはボランティアの育成について福祉分野だけにとどまらず、経験を生かして伝えていきたいものを選択できる体制を持った包括ボランティアセンターの必要性である。お互いが楽しんで村の活動ができることは心のつながりにもつながってくる。

日高村をよく知り、愛し、誇りを持って、「おもてなし」のできる村になることを願って。

(ノン)

ひだか 俳壇 橋田憲明選

川瀬 晴恵

老いの手には敵はず頼む蒲団干木の葉散るくるくると風の道

駒木 基克

木の葉降る鄙の会所の常夜燈出棺の車追ひる木の葉かな

島田 瞳

遊歩道積もる木の葉の音返す垣の根に木の葉一枚日を返し

中村 梅子

美術館出でしほてりに秋の風色づきて梢より透けてゐる木の葉

中山 美根

岩に添ひ日をたくはへる穴まどひ高気圧居座るかまへ大根引く

橋詰登志子

ゆつくりの歩みに木の葉まへうしろ猪の這ひたる跡の荒々し

濱田 幸

ことごとと今さいはひの田芋煮る落葉して少し日差しの長くなり

堀見 亨

暮れなづむ峡の刈田に延ぶ稲木稲刈つて黒き電信柱かな

山茶花の紅を散らして雨上る食膳に木の葉一枚添へらるる

柏井 皓子

一陣の風の意のままなる木の葉ふうはりと靴に伝はる落葉径

堀見 和代

編集後記

明けましておめでとうございます。

毎年恒例の流行語大賞が決定しました。昨年は「ダメよ～ダメダメ」。連日テレビから流れていました。

一昨年はというと「じぇいじぇい」・「今でしょ」・「おもてなし」・「倍返し」。昨日のように思えますが、ずいぶん前のことなのですね。本当に月日が過ぎるのは早いです。お体にお気をつけて、よいお正月をお過ごしください。

日高村で見られる特徴的なトンボを、季節に応じて、紹介するコーナーです。

日高村のトンボ

(社)トンボと自然を考える会の杉村光俊常務理事のご協力をいただき、毎月紹介しています。



オオアオイトトンボ連結産卵
(2014・11・5トンボ王国)



オオアオイトトンボ羽化後♀
(2014・6・2日高村鹿見日下川調整池)

第56回

オオアオイトトンボ

全長42～50mm。成熟したオスの複眼が青くなる以外は、オスメス共に同色で、胸部と腹部の背面が濃緑色、側面は淡いうぐいす色をしています。

アオイトトンボ科に含まれ、スリムなイトトンボ体形ですが、4枚のハネを半開きで休むところは、一般的なイトトンボ類と趣を異にします。平地、山地を問わず、木陰の多い池沼に住み、西日本での羽化は7月を最盛期として5月下旬から8月下旬まで行われます。

その後、若い成虫は水辺を離れ、秋が訪れるまで薄暗い林間で過ごします。

9月下旬頃から水辺に戻りますが、気温が高い時期の生殖活動は夕方から夜間にかけて行われることが知られているほか、天候が下り坂となった夕方近くに、どこに潜んでいたのかと思われるくらい多数の個体が、連結態で産卵場所に参集することも珍しくありません。これは、産卵活動を行う上で一定の空中湿度が必要なため、と考えられています。特筆すべきは、水面上の樹皮に産卵することです。樹種に対する好みはなく、アカメガシワ、ヒサカキ、クチナシ、エゴノキ、ハゼ等々、産卵対象木は多様ですが、さすがに硬さだけは問題のようで、基本的にその年の春以降に伸びた新しい枝が選ばれています。

一般に益虫とされるトンボ類ですが、かつて100円札が最高額紙幣だった時代、他県の水辺で栽培されていたコウゾやミヅマタに集団で産卵をし、これを枯らしてしまったことから「1000円札を食う虫」、つまり「害虫」のレッテルを貼られた経歴があります。村内では岡花の日下川調整池などでひっそりと暮らしていますが、製紙業のみなさんには「要注意」のトンボかもしれません。

ひだか Village Now

日高村の人口

11月末現在 (前月比)

世帯数 2,411戸 (-8戸)

人口 5,326人 (-11人)

男 2,506人 (-2人)

女 2,820人 (-9人)

日高村の交通事故

発生状況

平成26年1月～11月分(11月)

人身事故 14件 (3件)

死者 1名 (0名)

傷者 16名 (4名)

ご冥福をお祈りいたします

氏名	享年(満)	自治会
高橋 勝子	98歳	馬越
富田 重	96歳	宮谷

※順不同・敬称略。ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

ひだかの
たからもの

みやび

齋藤 雅ちゃん

平成26年11月7日生まれ

女の子

保護者：和也

自治会：宇井

「治水事業」促進の重要性について意見発表を行いました!!

11月26日、全国治水期成同盟会連合会が主催する「平成26年度治水事業促進全国大会」が東京都において開催されました。

日高村からは村長以下、治水担当課職員が参加、治水事業に携わる全国の関係機関が一同に介するなか、日高村長が「明るく安全で安心な未来に向けて(仁淀川とともに歩む)～「300年を超える水との闘い」の最終章へ～」と題し、治水事業促進の重要性について意見発表を行いました。

その概要としては、日高村における「水害との闘い」の歴史をはじめ、平成26年8月期に日高村内各地に甚大な被害を及ぼした2つの台風(12号・11号)の被災状況の報告を行った他、今後における日高村の治水事業の促進を図るべくその固い決意を述べたうえで、事業の促進を図るためには関係機関の支援等が必要不可欠であることを強く提言し、意見発表を終えました。



広報紙への感想・ご意見をお待ちしています。

〒781-2194 日高村本郷61-1 日高村役場 総務課 広報担当者

☎ 24-5113 E-mail: soumu@vill.hidaka.kochi.jp

広報 ひだか

平成27(2015)年1月号
No.553 1月1日発行

「広報ひだか」は、再生紙を使用しています

〒781-2194 高知県高岡郡日高村本郷61-1 ☎0889-24-5113 FAX0889-24-7900

日高村ホームページ <http://www.vill.hidaka.kochi.jp> E-mail: daihyo@vill.hidaka.kochi.jp

発行/日高村役場 編集/日高村広報編集委員会 印刷/株式会社高知新聞総合印刷